

観察会『花ごよみ 2009』 7月の報告

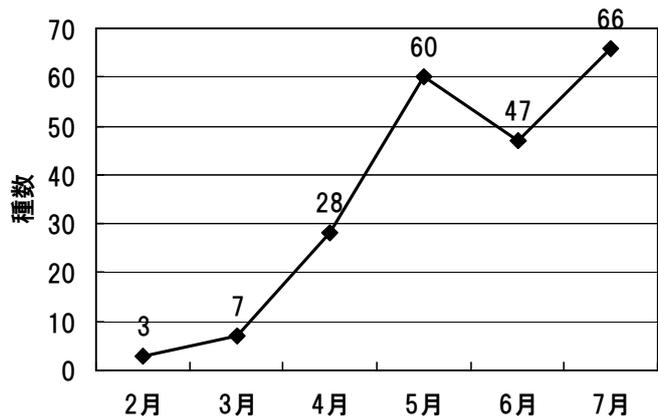
2009/07/20 文責：相澤

7月14日、正式発表前に“梅雨明け”と皆が思う暑さの中で行われた観察会『花ごよみ 2009』のご報告をいたします。いつも通り花を咲かせた種数の変化からです。

先月47種へと急落した“花を咲かせている種数”は、今月はまた66種へと飛躍的に多くなりました。

観察ルートの違いなどの影響もあるかもしれませんが、いくつかのカヤツリグサ科の植物やエノコログサ、セリなどの夏の植物が咲き始めました。

また、実をつけているものも一緒にしてカウントしているので、春の植物も未だカウントされていることも影響しているかもしれません。



ゾーン分けを新しくしました。

新ゾーン

- キショウブ池
- 南側湿地(ミクリ池～パーゴラ前広場)
- 北側湿地(パーゴラ～木道ベンチ先)
- 南斜面側湿地(ニワトコ～コナラ)
- 北斜面側湿地(コナラ～旧水路)
- 川側湿地
- 国道側湿地

記録した植物の状態の分類

花
花が咲いている状態。

実
実がついている状態。
(枯れているものは除く)

蕾
花の蕾がみられるが、花は咲いていない状態。

7月14日(火) 9:30~12:45

参加者：市川、熊谷、佐藤、重村、西澤、三嶋、綿貫、石堂、相澤(敬称略)

花の名前	場所と状態						
	キシウブ池	南側湿地	北側湿地	川側湿地	国道側湿地	南斜面側	北斜面側
アカバナユウゲショウ	花						
アメリカアゼナ		花	花				
イ			花				花
イヌガラシ			花				
イヌタデ		花					
イヌビエ		花					
イヌムギ	花・実				花		
ウシハコベ	花		花		花		
ウラジロチチコグサ	花・実						
エノログサ		花					
オオイヌタデ			花				
オオイヌノフグリ			花				
オオバコ	花・実						
オカトラノオ					花		
カタバミ			花				
ガマ		花					
カヤツリグサ			花				
カワヂシャ		花	花				花
カンガレイ			花				
カントウヨメナ					花		
ケイヌビエ		花	花				
コケオトギリ?		花					
コゴメイ		花	花				
コゴメガヤツリ			花				
コヒルガオ	花		花				花
シマスズメノヒエ	花		花				
シロツメクサ		花					
スカシタゴボウ		花	花				
セイバンモロコシ					花		
セイヨウタンポポ	花						
セリ	花	花	花		花	花	花
ソクズ	花						
タカサブロウ		花	花				
タコノアシ		花	花	花			花
タネツケバナ			花				
タマガヤツリ			花				
チチコグサモドキ			花				
ツメクサ	花						
ツユクサ	花		花				
トキワハゼ		花	花				
ドクダミ						花・実	

花の名前	場所と状態						
	キシウブ池	南側湿地	北側湿地	川側湿地	国道側湿地	南側斜面沿	北側斜面沿
ネズミムギ	花						
ノゲシ			花				
ハキダメギク		花					
ヒメガマ		花	花		花		
ヒメサルダヒコ		花	花	花			
ヒメジョオン	花	花	花			花	
ヒレタゴボウ			花				
ヘラオモダカ						花	
ホタルイ			花				
ミゾソバ	花	花	花			花	
マコモ		花					
マツカサススキ			花				
ムラサキツメクサ		花	花	花			
メヒシバ			花				
ヤナギハナガサ			花	花			
ヤマユリ					花		
ヨウシュヤマゴボウ						花	
ヨシ			花	花			
アレチギシギシ	実	実	実				
カモジグサ	実					実	
クサヨシ	実	実				実	
コウガイゼキショウ			実				
スズメノチャヒキ		実					
ナガバギシギシ	実						
マスクサ	実						
ミクリ	実	実					
ミコシガヤ		実	実	実			実
ヘクソカズラ	蕾						
シロダモ						実	
イヌシデ						実	
コナラ						実	

- 赤字で名前が書かれている種は、湿地の中ではなく、園路や畦などやや乾いた場所のみに生育していたもの。
- シロダモ、イヌシデ、コナラは木本なので、花の咲いている種数には加算しなかった。

感想(今日のお気に入り)

初参加の御三方は、口をそろえたように『種類の多さに驚いた』『雑草という名の草はないということが実感できた』『でも名前を覚えるのは大変』といった感想を書いて下さいました。また、今回の一番人気はヤマユリ。14日がちょうど“見頃”でした。他にも、キアゲハの幼虫やカヤツリグサの仲間、ツメクサ、タカサブロウ、ヨシの花などがお気に入りとして挙げられていました。

以下の花情報も皆さんの感想を基に書いております。

◇今月の花情報



ヤマユリ

国道側湿地にオカトラノオと共に移植されたもので、見事な咲きぶりに皆で感動しておりました。

移植と言っても元は六号線に面した公園の斜面にあったもので、残された株は斜面の上の方で人知れず？咲いております。

ちなみに写っているのは相澤の手ですが、手首から中指の先までが約20cmです。



コケオトギリ?

パーゴラ手前のあぜ道で、根木内歴史公園では今回初めて見つけた花です。しっかりとは調べておりませんが、オトギリソウかのコケオトギリであると思われます。

高さ10cm程の小さな植物で、一株しか見つけられておりません。在来種ですが、これから増えて行くのでしょうか？それともたまたま咲いただけでしょうか？



セリ

先月の観察会の時との大きな違いと言えば、セリの花があちこちで咲いていたことでしょう。

よくよく見れば、キアゲハの幼虫があちこちでセリを食べているのが見られます。





ヘラオモダカ

南斜面側湿地の定点1近くに去年から生育している在来の多年草です。

めだかなどの水槽に入れるために輸入された外来のナガバオモダカか？と議論を呼んでいましたが、葉っぱの形などから、ヘラオモダカが良いのではないか？という判断に至りました。



ヨシ

木道沿いのみで花を咲かせていました。

定点観察調査にてヨシの草丈を測った結果を見てみると、4月は50cm程度、5月は180cm程度、6月は230cm程度、7月は3mを超える場所も出てきています。

木道沿いは比較的草丈が低い場所ですが、それと花が咲く時期がこの場所だけ早かったことと何か関係があるのでしょうか？



ヒレタゴボウ(不気味な根)

湿地中央の今年の春に新しく掘られた場所にヒレタゴボウがたくさんいるのですが、よくよく見ると、不気味な白い根が・・・原因不明の現象です。

ヒレタゴボウは主に北側湿地に広がる外来種。外来種とはいえ、綺麗な花を咲かせます。このような種はどのように管理していくことが望ましいのでしょうか？